

とっかこ 広場

令和9年度4月入所の利用申請が始まりました

～保育所等利用申請方法・受付期間が変更になりました～

0歳～5歳児

保育園

就労・病气・介護など保育を必要とする要件があり、必要性に応じて入所者を決定します

●認可保育所(0～5歳児)

保護者の就労や病气などで、子どもの保育を必要とする場合に、保護者にかわって保育する児童福祉施設

●認定こども園(保育利用)(0～5歳児)

幼児教育・保育の機能をあわせ持ち、地域における子育て支援も行う施設(保育園部分)

●小規模保育事業(0～2歳児)

定員が比較的少なく、保育士との距離が近い環境でじっくりと向き合い、きめ細かな保育を実施する施設

●家庭的保育事業(0～2歳児)

家庭的保育者が家庭的な雰囲気の中で保育を実施する施設

●認可外保育施設

先着・抽選などで施設が入所者を決定します

●企業主導型保育事業(0～5歳児)

国から補助を受けながら、自社や契約企業の従業員の子どもや地域の子どもを預かる施設

●その他の認可外保育所(0～5歳児)

都道府県(市長)の認可を受けていない保育施設(市が指導監督)

多様化するニーズに応え、特色ある保育を提供しています。受入年齢や申請方法などは直接施設にお問い合わせください(施設一覧は区WEBで確認または、利用案内配布場所で配布)

利用申請は 10月28日(水)まで

原則 マイナンバーカードを使ったオンライン申請です

※申請する保護者の電子署名の暗証番号の入力が必要です

※手続きに必要な「就労(予定)証明書」の用紙もWEBからダウンロードできます

やむを得ず郵送で申請する場合は、申請書や必要な書類の様式を印刷し、「認定・利用調整事務センター」へ送付(締切日消印有効)

※該当する場合、早めに区役所へご相談ください

●障害児保育の利用を希望

●市外の認可保育所などの利用を希望

●これから出産予定(出生前の仮申請)

利用案内はここでも配布

区役所2階8番窓口

戸塚・東戸塚駅行政サービスコーナー

区内認可保育所

認定こども園

小規模保育事業施設

家庭的保育事業施設

3歳～5歳児

幼稚園

保育を必要とする要件に関係なく通園できます

●幼稚園

幼児の健やかな成長に適した環境の中で、心身の発達のための教育を提供する施設

●認定こども園(教育利用)

幼児教育・保育の機能をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設(幼稚園部分)

申込方法など詳細は各施設にお問い合わせください

募集要項配布開始:10月15日(木)以降

入園願書受付開始:11月1日(日)以降

保護者向け園選びサイト「えんさがしサポート★よこはま保育」

市内の認可保育所、認定こども園、幼稚園などを網羅。園を選ぶ際の参考に!

問 区役所保育担当 (Tel 866-8467 fax 866-8473)

子どもの相談・教室(要予約)

↓ 問 区役所健康づくり係へ (Tel 866-8426～7 fax 865-3963)

こども食生活相談

区内在住の0歳～未就学児の食生活などの個別相談

日11月4日・18日(水)9時～11時 所 区役所5階 栄養相談室 持 母子健康手帳 申 10月13日9時から 区役所健康づくり係へ ※相談時間は45分以内

「はじめての歯ぴか教室」 はじめての歯みがきと離乳食(1回食)の講話、実習

日11月20日(金)10時～11時30分 所 区役所5階 健康診査室 区内在住の4～6か月児と保護者:先着18組 持 母子健康手帳、バスタオル(おむつ交換の際に使用) 戸塚区役所 はじめての歯ぴか教室 で 検索

「離乳食教室」 離乳食(2回食)の講話、試食

日11月18日(水)13時30分～14時30分 所 区役所5階 栄養相談室 区内在住の7～8か月児と保護者:先着15組 持 子ども用エプロン・スプーン 戸塚区役所 離乳食教室 で 検索

「1歳からの食事と歯みがきレッスン」 乳児食から幼児食への移行についてや歯みがきの講話と試食

日11月5日(木)10時～11時30分 所 区役所5階 健康診査室 区内在住の1歳～1歳6か月児と保護者:先着16組 持 母子健康手帳、子ども用歯ブラシ、子ども用エプロン、スプーン・フォーク 戸塚区役所 1歳からの食事と歯みがきレッスン で 検索

戸塚発

グリーンエクスポ ニーゼロニーナ

GREEN×EXPO 2027 だより

Vol.1

GREEN×EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月横浜・上瀬谷

みんなの作った土(堆肥)で、EXPO会場の花壇に花を咲かせよう

GREEN×EXPO 2027の花壇で使う土を、市内の学校の子どもたちが作っています(「学校ブレンスプロジェクト」)。学校から出る生ごみを利用してできた土(堆肥)は栄養たっぷり!今回は小雀町にある「公文国際学園中等部・高等部」の活動をのぞいてきました。

資源循環局戸塚事務所から

「食品ロス」のお話と、堆肥を作るまでの注意点についてアドバイスをもらいます。

これは、堆肥を作るための専用の入れ物(キエーロ)。雨をしのぐためのフタがついています。

さあ始めよう!

学校でつくった土に花をのこす!

学校の食堂から出た生ごみを土に混ぜます。

生ごみは土の中の微生物の力で分解されて堆肥になります。

自分たちの活動がGREEN×EXPO 2027につながると、とてもやりがいを感じます。

他校の活動もご紹介「学校ブレンスプロジェクト」

こんな風に活動に関わることができてうれしいです!

問 資源循環局戸塚事務所 (Tel 824-2580 fax 824-2820)

イベントなどは中止・変更となる場合がありますので、問い合わせ先に確認してください。

編集・発行 区役所広報相談係 (Tel 866-8321 fax 862-3054)

以下は広告スペースです。「広報よこはま」に掲載されている内容とは関係ありません。